

4 - 2 伊豆半島付近の地震活動 (1994年5月~7月)

Seismic Activities in the Izu Peninsula and its Vicinity (May, 1994-July, 1994)

東京大学地震研究所

地震地殻変動観測センター

Earthquake Research Institute, The University of Tokyo

第1図は伊豆半島付近の各月、及び3ヵ月の地震活動をしめす。第2図は新島、神津島付近の震央分布図、第3図に伊豆大島付近の震央分布図を示す。

1) 伊豆大島及び周辺海域 (第3図)

5月に伊豆大島北部及び北部沖に微小な活動があった。沖合いの活動は5月1日(地震数33個)と11日(地震数7個)に分かれて起き、陸部の活動は1日(地震数8個)に起きている。陸の活動は極浅く、沖の活動も0~5km位である。マグニチュードはM1.5~2.8で最大のM2.8は5/1、14h41mに起きている。6/30~7/1にかけて伊豆大島と伊豆半島の間で南北に並ぶ極浅い小さな活動があった。観測された地震の数は12個でマグニチュードは1~2クラスであった。7/20~7/26にかけて伊豆大島南東の陸から沖にかけて東西に並ぶ極浅い活動があった。震源の決まった地震は107個、マグニチュードは0~2.7であった。火口付近にも小さな地震が数個みられる。

2) 伊豆半島東方沖

5/4~5/17にかけて網代沖で小さな活動(震源の決まった地震17個、深さ4~6km、マグニチュード0~1.8)があった。また富戸沖の海底地震計(obs1)の西側で5/14~5/18日にかけて小さな活動があった。地震数13個、マグニチュード0~2.6、深さ3~6kmであった

3) 神津島付近の活動

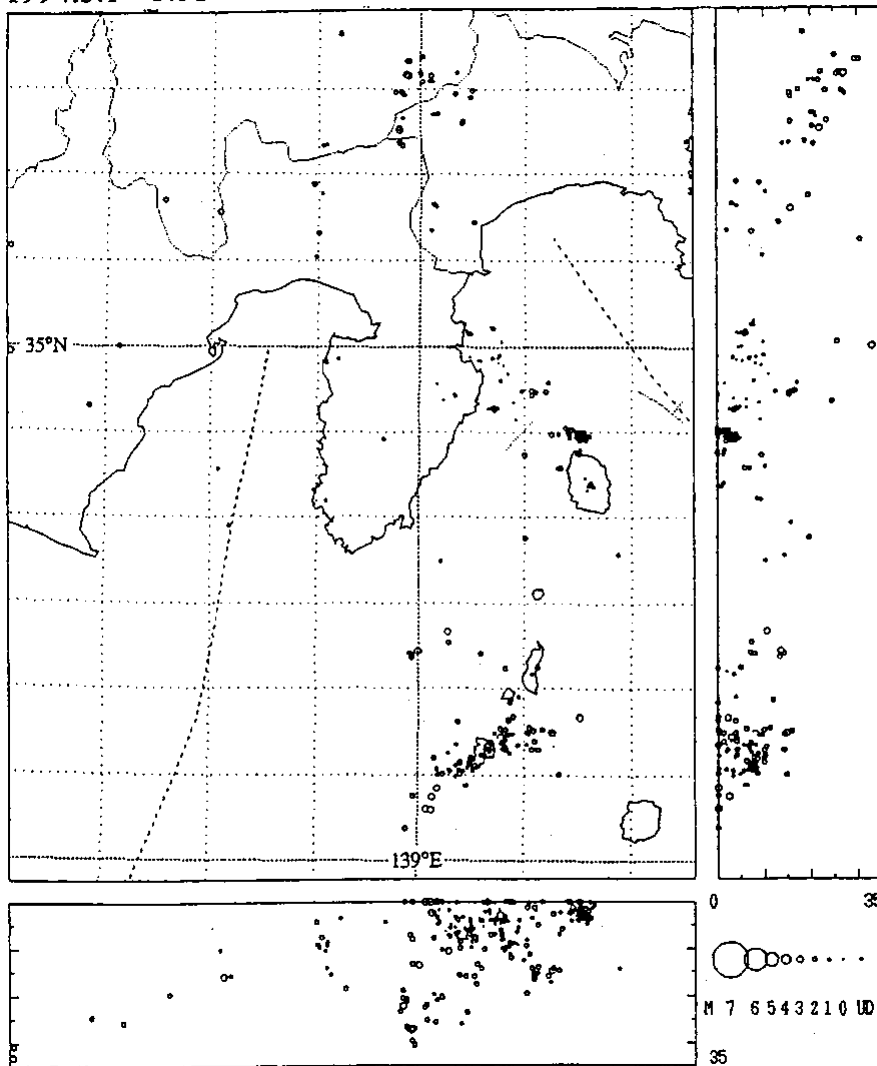
5月より7月の全期間を通して活動がみられる。総地震数は250個程度観測された。深さは0~15km位でマグニチュードがM3.0以上のものが19個観測された。

4) 新島、新島北東沖、神子元海丘

新島の中央部をきって西北西~東南東に伸びる活動が6/13~6/17を中心に起きている。観測された地震数は82個で、深さは1~7km、最大のマグニチュードは3.1であった。この期間、同時に新島と伊豆半島の間にある神子元海丘で地震が発生している。期間は6/14~6/18日で深さ7~17km、最大のマグニチュードはM4.8であった(6/14, 05h55m, h=12km, M4.8)。また、新島を横切る西北西-東南東の並びの延長上にある北西沖で5月より7月の期間を通して14個の地震が観測された。

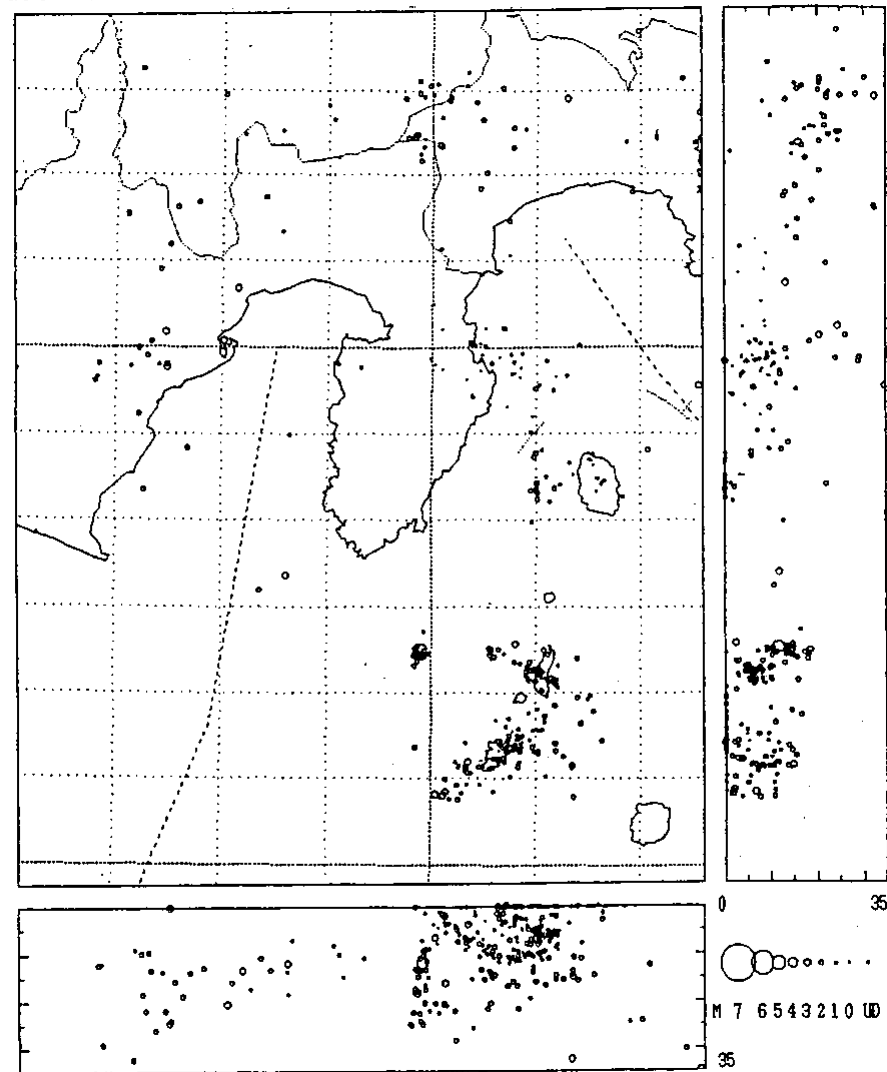
1994.5.1~5.31

N=267



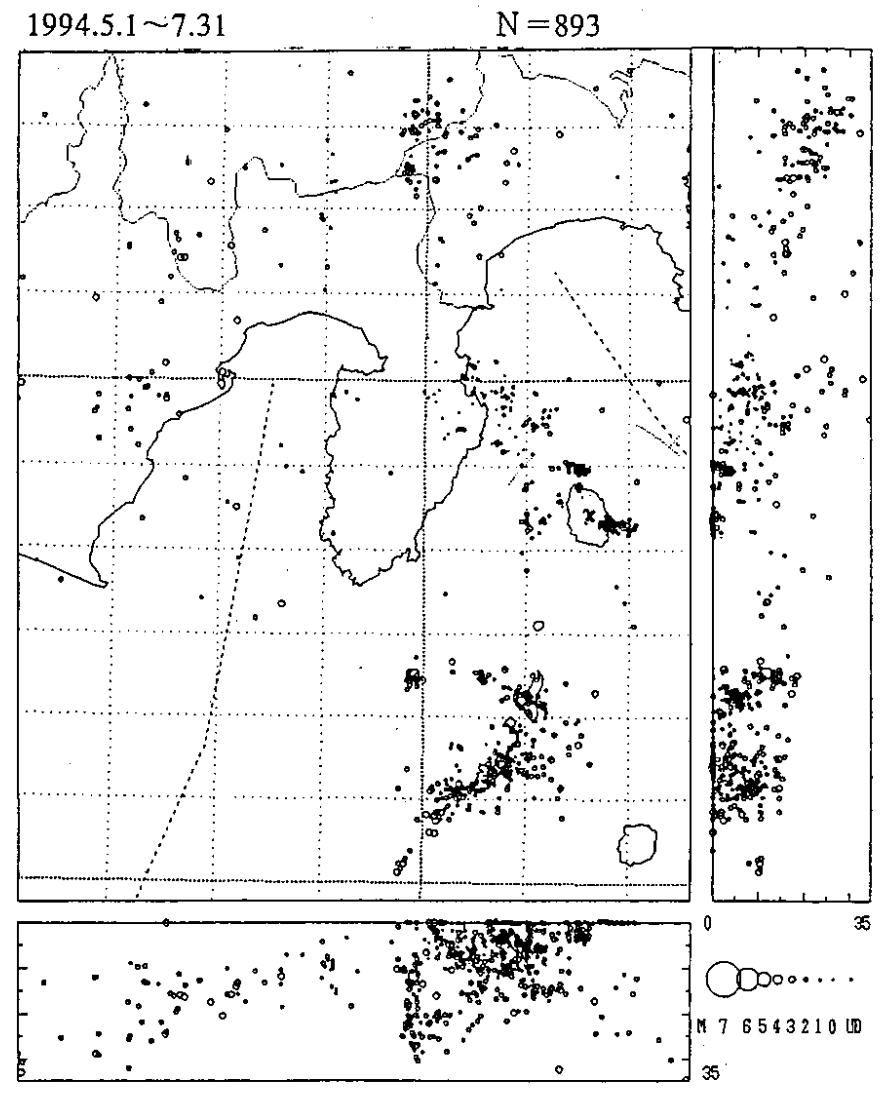
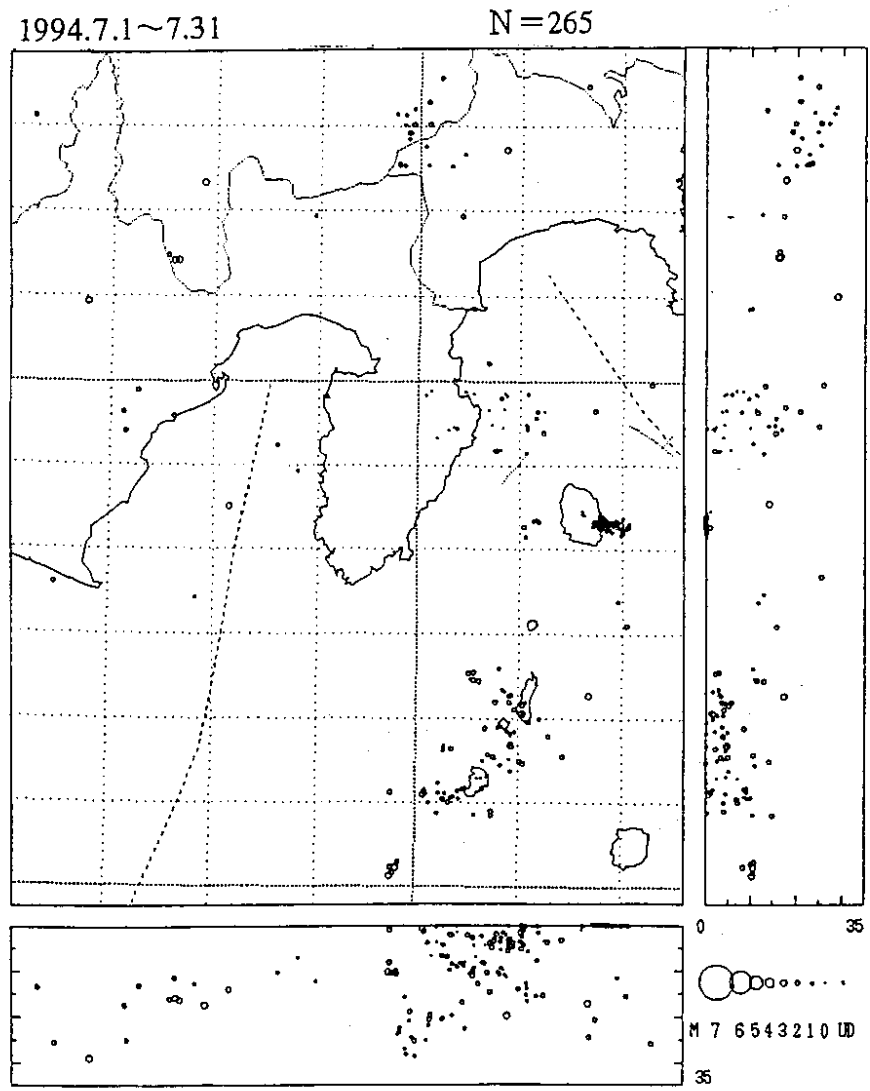
1994.6.1~6.30

N=361



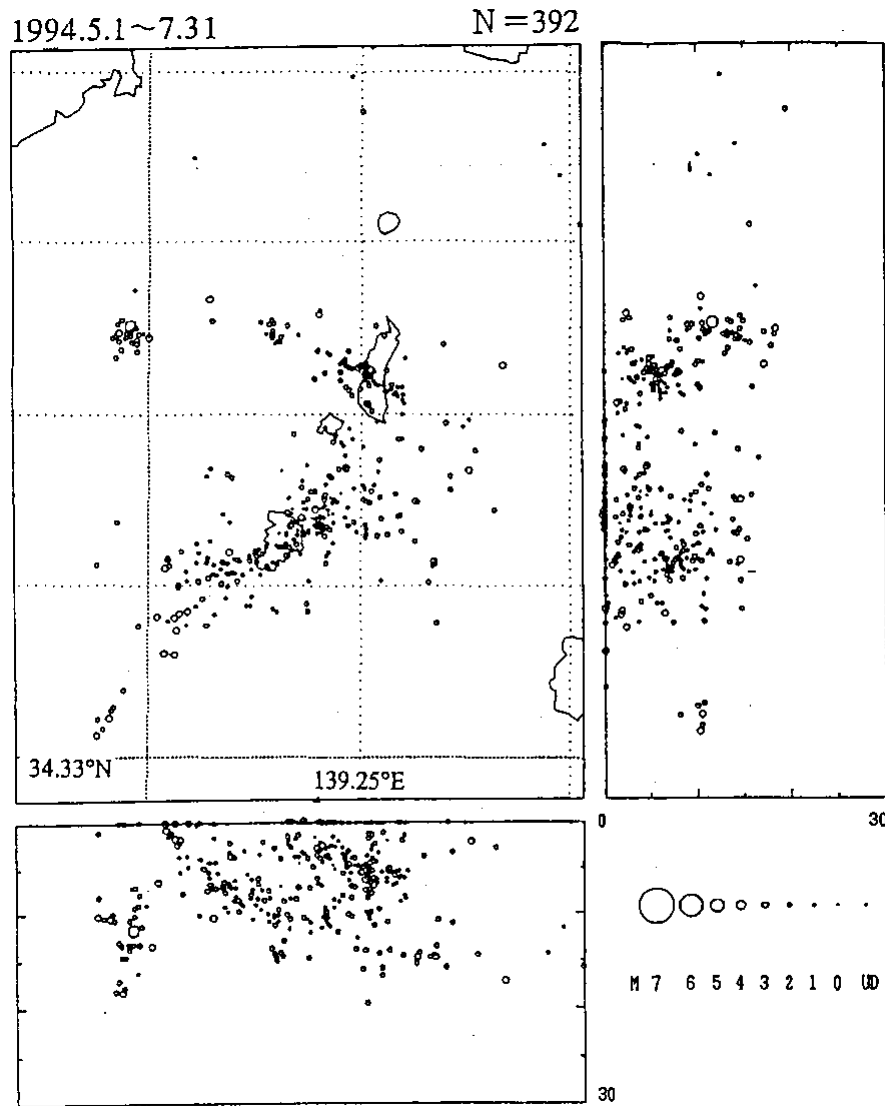
第1図 伊豆半島とその周辺の地震活動(1994年5月~7月)

Fig. 1 Seismicity in and around Izu Peninsula (May. 1994-July, 1994).

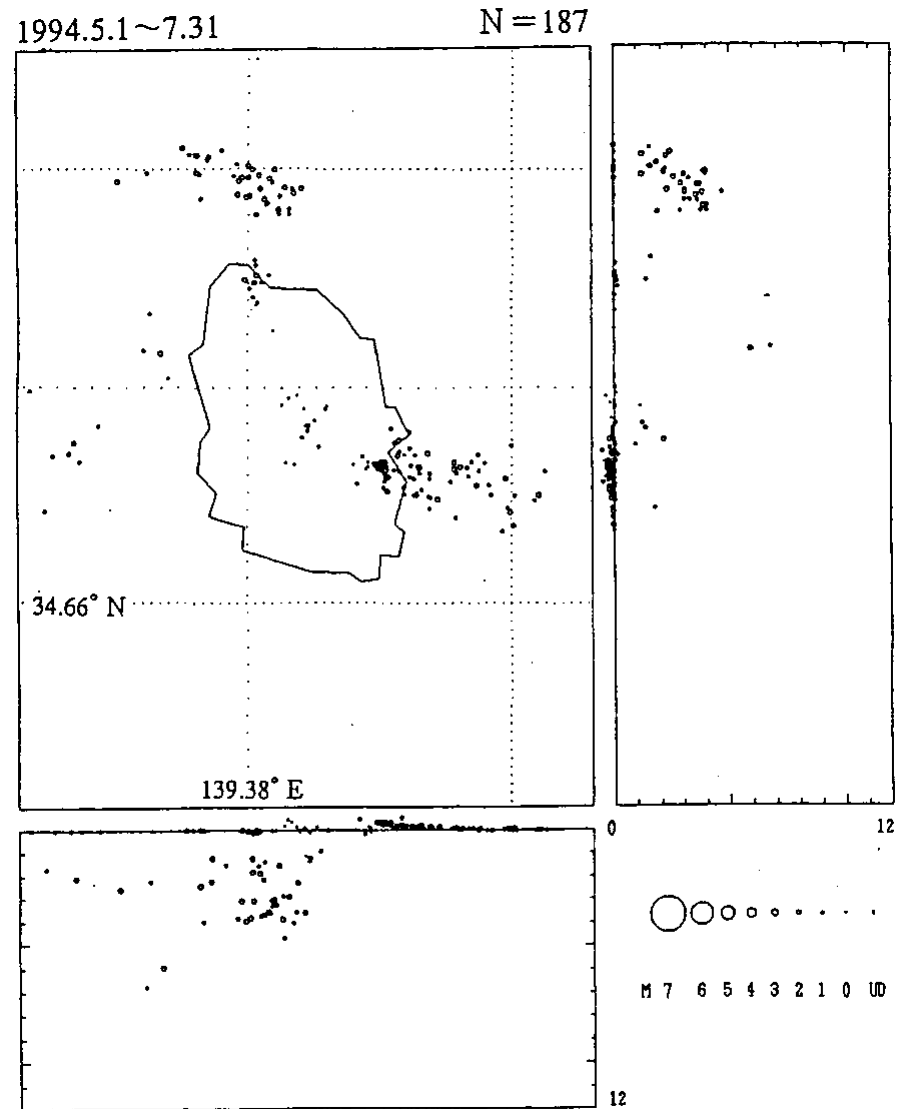


第1図 つづき

Fig. 1 (Continued)



第2図 新島・神津島付近の地震活動(1994年5月~7月)
 Fig. 2 Seismicity in and around Niijima and Kozushima Islands
 (May, 1994-July, 1994).



第3図 伊豆大島付近の地震活動(1994年5月~7月)
 Fig. 3 Seismicity in and around Izu - Oshima island
 (May, 1994-July, 1994).